

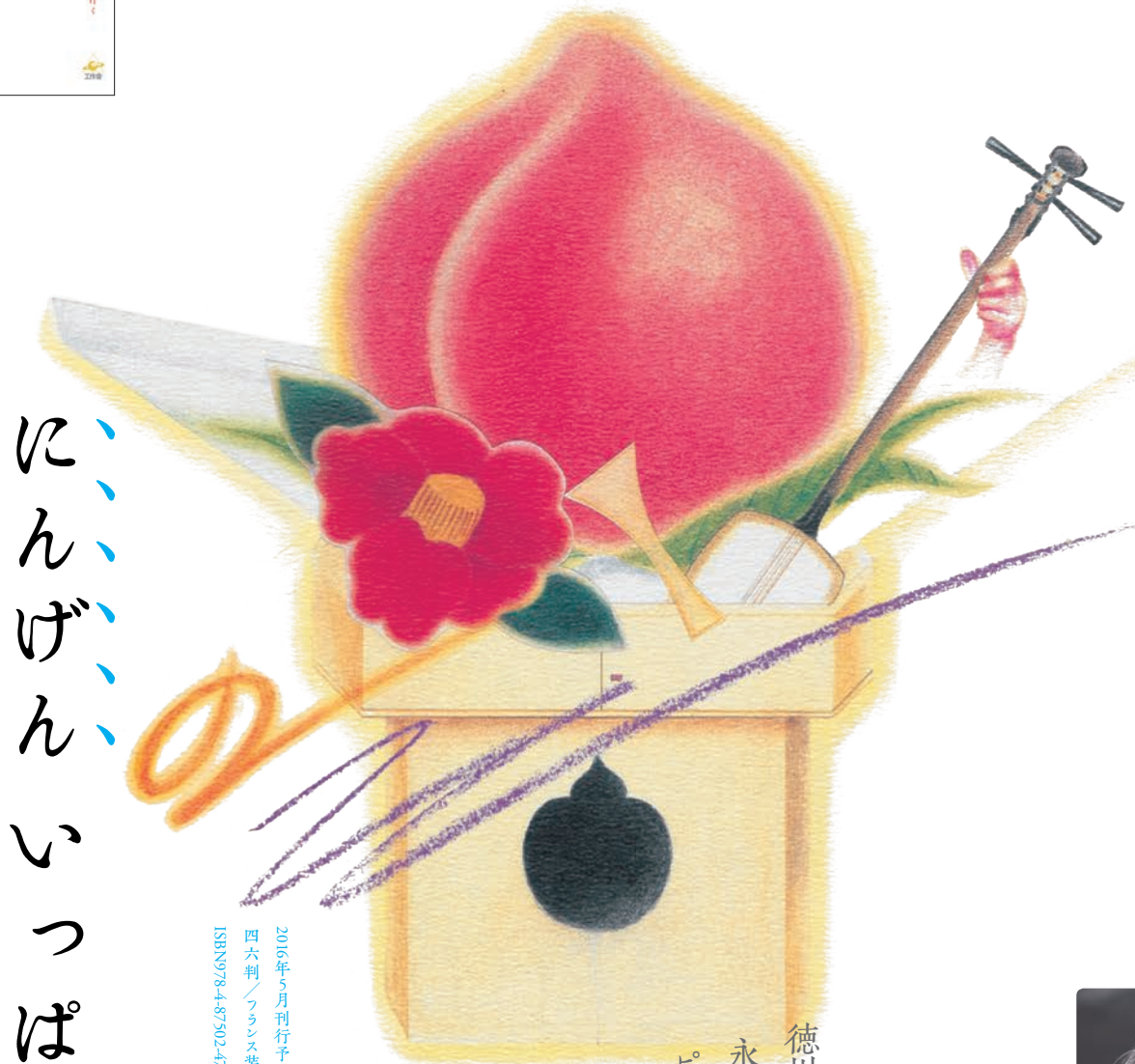
# 桃山晴衣

日本の音はどこへ行く



桃山晴衣

[ももやまはるえ]  
1939年6月22日東京都生まれ。6歳から三味線を始め、1960年、芸と文化を考える「於晴会」と結成、桃山流を創立し家元となる。1963年、古曲、宮園節に入門、四世宮園千寿の内弟子となる。1974年、家元をやめ、「古典と継承」シリーズの公演を開始。1981年より「梁塵秘抄」全国ツアーと展開。1987年、岐阜県郡上に土取利行とともに立光学舎を創設。1990・91年、ピーター・ブルック演出「レンペスト」の音楽と歌唱を担当。2008年12月5日、逝去。



にんげん、うたいっぱい

徳川義親、秋山清

永六輔、五木寛之が瞠目し、

ピーター・ブルック、

デレク・ベイリー、

ピナ・バウシユが敬愛した

孤高のミュージシャン、

桃山晴衣の音界遍歴の記録と、

「随想」と「対話篇」で一冊に凝縮。

2016年5月刊行予定 / 予価 本体500円＋税

四六判 / フラップス装 / 388頁

ISBN978-4-87502-473-6 C0073

装丁 杉浦康平



桃山晴衣

にんげん、うたいっぱい



目次より



## 修行と伝統

伝承をうたう／「はるえにちろく」から  
家元と呼ばないで／家元制と近代

## 交歓と別離

三味線の音色をつくる——竹内庸介さん訪問  
演歌と叛骨——添田知道さん訪問  
近代邦楽事情——父、鹿島大治訪問  
平曲修行と名人たち——井野川幸次検校訪問  
胡弓の理想——横井みつとみさん訪問  
添田知道さんが逝ってしまわれた  
千寿師匠の死を悼む／秋山清さんを偲んで

〈個の充足と隣人を受け入れるやわらかさ〉。

彼女は古曲、長唄、端唄、小唄、復元曲、明治大正演歌、  
梁塵秘抄、今様浄瑠璃と、縦割りの邦楽界を飛び超え、  
多岐にわたる日本音楽と身につけ、

その独創的な実践を通して、日本人の豊かな感性を伝えてゆきつつ、  
ピーター・ブルックやデレク・ベイリー、ピナ・バウシユなど

世界のアーティストとも創造的な交流をはたしてきたのは、  
こうした自身の開かれた生き方のおかげでもある。——

土取利行

伝統の継承は、困難であっても不可能な道ではない。  
古典の再生もそうだ。

しかし、そのふたつと同時に同時代の音楽として作り出す道はけわしい。  
桃山さんは、そのふたつの道をあえて歩き続けてきた。

伝説を生み、さらにそこから再出発し、

新しい伝説の歌い手として無限の旅を続ける

桃山晴衣のうしろ姿に、不屈のアーティスト魂と

見る思いがするのは、私だけだろうか。——

五木寛之

## 今様の冒険

「梁塵秘抄」に出会えて  
「梁塵秘抄」の世界をうたいながら  
各務原雨の夜ばなし——桃山晴衣＋藤井知昭＋青木雨彦＋皆川達也

## 遍歴と輪舞

ウードと三味線——ハムザ・エル・ディン  
デレク・ベイリーとの即興／パリの三人の音楽家  
モロツコは三絃の国／パリからの便り  
タゴール・ワングと土取利行／インド紀行  
たかが日本、されど日本

## 帰郷と三絃

内なる風景、外なる風景／祭りの魅力を感じるとき  
生活とデザインする／弾き語り放浪の旅から  
三絃世界はファンタジー／夢の三味線  
げんげんばらばら奥美濃日記

ビジュアルページ

桃山晴衣自筆の宮園節譜「鳥辺山」

写真帖より

書店印

申込書

\*お近くの書店にお申し込みください。工作舎へ直接お申し込みもできます。

にんげん いっぱい うた いっぱい

予価 本体4500円+税

冊

お名前

ご住所

電話番号/e-mail



工作舎

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル12F

tel ▶ 03-5155-8940

fax ▶ 03-5155-8941

www.kousakusha.co.jp

saturn@kousakusha.co.jp